



やらまいか

クラブテーマ：転換点ポスト平成そして令和をデザインしよう

会長/伊藤正幸 幹事/縦山修一 会報委員会/宇野秀幸・加藤雅美 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
 事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第29回 通算1605回 2020年2月18日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	1/28 修正出席率
		68名	22名	38%	100%

ゲスト:(なし) ビジター:メーキャップ受付13名

★会長あいさつ

伊藤正幸会長



こんばんは。新型コロナウイルスの関係で、いろんな形で人と会う席には出ないようにされているのではない

でしょうか。私の場合には、今週の金曜日に名古屋で開催される会議が中止になりました。トヨタの大きな会合も中止になったと聞いています。経済に大きな影響が出てきそうであり、今後どうなるのかと心配をしております。

私の仕事関連で、TOTO やタカラから受注はできない、納期も確定できないと通知が来ています。キッチンやトイレが発注できていません。それらの部品の一部が中国での生産ということで、入らないということです。でするので、工期が遅れて完成できず、お客さんからもお金を頂くことができないという、色々な支障が出てきています。とても大変な問題だと思っています。皆さん、それぞれに影響があるのではないかと心配をしております。事業もそうですが、体調にも充分にお気を付けいただきたいと思います。

先週の土曜日に東三河分区 IM がアークリッシュホテルで行われました。平野ガバナー補佐の晴れ舞台でした。講演会は、群馬県の高崎 RC の方で、2017-18 にガバナーをされた田中久夫さんのお話を伺いました。会員拡大についてのノウハウについての講演を頂きました。その後、平野ガバナー補佐から、6月

末までに1クラブ10名を目標に頑張れという話がありました。ただ、田中久夫さんの話を聞いていると、当クラブでも出来るのではないかと思えるようなヒントを多くもらったようには感じました。

IM 報告の後は、美味しい料理とお酒を飲みながら、会員拡大についての話で盛り上がりればよいと思っております。

★幹事報告

縦山修一幹事

例会臨時変更のお知らせ
 ロータリー手帳注文の受付
 次回例会のお知らせ

★委員会報告

親睦活動委員会 寺部良洋委員長
 春の行楽の開催日の告知



★東三河分区 IM の報告

報告

寺部良洋会員

こんばんは。IM について私が受け止めた報告をさせていただきます。今回は、座席はくじ引きで決められました。



IM のテーマとしては「ロータリーの心 ～多様性と柔軟性～」です。冒頭の平野ガバナー補佐より、クラブをよりよくしよう、それに必要なのが会員増強を目指すことであると挨拶がありました。

講演会は、自身が会長の年度に、会員を 1 年間で 64 名から 115 名に増員された、高崎 RC のパスト会長の田中久夫様からご講演を頂きました。田中様は、高崎経済大学経済学部教授ということもありまして、話は上手だということとともに、ユーモアを交えながら講演をされたので、非常に聞き心地の良い講演会だったと感じました。

講演の内容としては、最初に全国の会員の増減が報告されました。2 年前は、全国でプラス 151 人でしたが、昨年度はマイナス 257 人になってしまったということです。今年度はプラス 150 人にしたいという話から始まりました。その中で、自分自身がどのように活動し、増員してきたかという話に入りました。増員するためには、ロータリークラブの現状をアンケートに取って見たそうです。入会理由、ロータリーのイメージ、入会後の感想などを踏まえて、何が必要なかを考えて取り組まれたそうです。現会員が新会員を紹介したことがあるのが 4 割だったので、会員が最低 1 名を入会させる努力が必要であるという取り組みをされました。そして、若手を中心に毎月、増強会議を開催して、候補者をリストアップし、アポを取って電話し、翌日に訪問して、考える余地を与えずに入会書を書かせるということをしてきたそうです。また女性会員を増やすことも大切だと言われておりました。会員一人一人に責任を持たせて勧誘をすることは、増員の効果が上がると理解をしますが、私自身としては、このような処方

は苦手です。

増員しても、退会されては元も子もありませんので、退会理由もアンケートで調べたそうです。クラブの活動が期待外れだったとか、人間関係が難しいとか、会費が高い等々の意見があり、それらの基づき、例会の席をくじ引きで決めるとか、握手タイムを設けるとか、クラブの中に独特な部活を取り入れるとかを実施したそうです。まあまあ良い結果が出たということです。ロータリー活動を広く知らしめる必要があること、ロータリーを愛している人に説明してもらおうとか、ポスター等でロータリーを知ってもらうことが非常に必要であるということです。ロータリーの良さ、楽しさ、そして意義を理解してもらって、会員増強とともに、退会防止の努力をしていく必要があるそうです。

ただ、仕事があつてのロータリークラブへの参加だと思っておりますので、全員が参加できなくても致し方ないと思っております。仕方ないですが、常日頃からの例会の出席率は低いように感じております。まずは、そのようなところを改善していかないと、増強にはつながらないように思います。以上で報告を終わります。ありがとうございました。

報告

林 博宣会員

こんばんは。久しぶりに IM に出席しました。

今年の IM は、平野ガバナー補佐のもと豊橋東 RC



がホストを務めて、約 250 名のロータリアンが集まりまして、9 時 30 分の点鐘に始まり、平野ガバナー補佐あいさつ、伊藤ガバナーあいさつ、神野パストガバナーあいさつに続いて、講師紹介がありました。

講演会の内容は、先ほどの寺部さんが詳しく報告してくれました。少し重複しますが、会員拡大に向けて 100 名ぐらいの候補者のリストアップをして、その中には、皆さんが知っている人が半分ぐらいいるので、その人たちに電話攻勢をかけて、翌朝早くから自宅に押し掛けるという形で、51 名を増強されたそうです。その翌年度の増強は 0 名でしたが、

そこから4年間で約20数名を入会させ、64名だった会員数が、6年後には140名になったということです。150名になったら、高崎RCをブランド化して、東京RCのようにウェイティング制にして、150名以上には増やさず、退会者がいたらウェイティングの中から入会させるという話もありました。ただ、これは実現するかどうかは分からない話です。高崎市内には5つのロータリークラブがあり、他のクラブも増強に成功しているのだそうです。群馬県は、前橋市と高崎市の人口が似通っています。共に競争しているようですが、ロータリアンの中では高崎の方が優位に物事を運んでいるそうです。

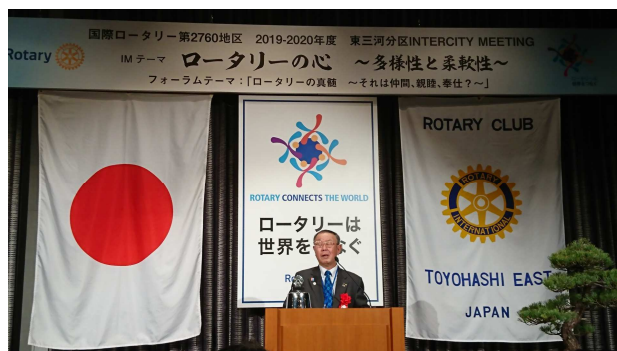
ロータリーを楽しむには、教養（今日、用事）と教育（今日、行くところ）だそうです。ロータリーに入って、用事が無くて行くところもないと楽しむことができないから、ロータリーを楽しむには教養と教育なのだそうです。そのためには、無所属の時間が大事だそうです。趣味の時間になります。当クラブでは、ゴルフ同好会がそれにあたります。他の同好会的なものも増やして、無所属の時間を多くすれば、ロータリーが楽しめるようになるのではないかとのことです。私個人的には、麻雀か釣りの会ができればと思っています。

最後に、講師の方が話していた言葉の中で印象に残った言葉がありました。「これからが、これまでを決める」この言葉が、とても心に残りました。寺部さんも言われていたように、講演会の後半も眠くならず、久々に良い講演を聞いたと思いました。以上で報告を終わります。

★ニコニコボックス

- 伊藤正幸会員 誕生日を祝って頂き
- 加藤雅美会員 //
- 高桑 耐会員 結婚記念日を祝って頂き
- 中西弘徳会員 //
- 岩瀬靖宏会員 //
- 山本章吾会員 //
- 柴田浩志会員 誕生日・結婚を祝って頂き

★東三河 IM の様子



会報担当：宇野秀幸会員・加藤雅美会員